中選挙区比例代表併用制変法ほかのシミュレーション

太田光征

2017 年 8 月 22 日

本来の中選挙区比例代表併用制の骨格：

※中選挙区比例代表併用制では、選挙区は基本的に地理的な選挙運動区であり、その定数は当選議席枠ではなく目安定数の意味合いを持ち、中心的な投票区は全国名簿投票の全国区となり、補助的な投票区は選挙区投票の中選挙区となる。

中選挙区比例代表併用制の簡略な変法：

変法 1：
①現行の（参院選の）都道府県区割りのまま、比例区の定数を選挙区に一本化する。
②各候補者は都道府県単位の選挙区で選挙運動を行うが、全国の有権者から全国名簿投票（政党名投票も可）と選挙区投票を受ける。
③無所属候補は選挙区投票で目安定数内に入れば当選とし、政党については総定数から無所属候補の当選者数を差し引いた議席を各党の全国名簿の得票率に応じて各党に議席を比例配分する。
④党内当選順位は適切な方式、当面は対平均得票数比を採用する。
⑤有権者は全国名簿投票で第 1 選好と第 2 選好の票を投じ、第 1 選好票が死票になれば、第 2 選好の投票先に移譲する。
変法 2：変法 1 を修正して、選挙区を完全に純粋な選挙運動区に設定し、政党候補も無所属候補も全国名簿投票を受け、政党・無所属候補ごとに得票を全国集計して、この得票数に基づいて政党と無所属候補に議席を比例配分する。

※変法 1 シミュレーション（1）の狙い：定数を選挙区間で統一する本来の場合とは異なり、小中選挙区が混在する条件で中選挙区比例代表併用制の基本規定を適用した場合に、無所属候補も当選するか、目安定数内の候補者が当選するかどうかを確認する。

変法１シミュレーション（１）の仮定：
①有権者は選挙区投票（16 年選挙区選挙の結果を使用）と全国名簿投票（16 年比例区選挙の結果を使用）を行う（本来の中選挙区比例代表併用制における全国名簿投票では政党候補もしくは政党または無所属候補に投票する）。政党の 16 年比例区得票数または選挙区得票数の総計を全国名簿投票の総得票数と見なし、各候補者の 16 年選挙区得票数を全国名簿投票の個人名得票数と見なす。
②選挙区選挙で無所属候補を当選させた有権者の全国名簿投票を無効とする。
③総定数から無所属候補の当選者数を差し引いた議席を各党の全国名簿の得票率に応じて各党にドント式または最大剰余法で比例配分する。
④有権者は全国名簿投票で第１選好と第２選好の票を投じ、第１選好票が死票になれば、第２選好の投票先に移譲する。
⑤党内の当選順位は選挙区投票の対平均得票数比順とする（定数を選挙区間で統一する本来の中選挙区比例代表併用制では全国名簿投票における個人得票数順が基本）。

※変法１シミュレーション（１）の結果　　※各選挙運動区で当該区を地盤とする当選者の数が目安定数に満たないケースは全国で約 10 人と推計される。逆に約 10 人が目安定数外の当選者となる。目安定数１人区での落選例はない。公明・維新・生活・怒りの当選者数が立候補者数を上回るので追加立候補者を推定で選挙運動区に割り当て、自民が新たに都市部の埼玉・東京・愛知・大阪から４人を立候補させると仮定。

中選挙区比例代表併用制変法２の党内当選順位方式のシミュレーション（2）：都道府県を選挙運動区、全国を投票区とし、政党候補も無所属候補も全国名簿投票を受け、政党・無所属候補ごとに得票を全国集計して、この得票数に基づいて最大剰余法で政党と無所属候補に議席を配分する。変法では死票を移譲するが、シミュでは死票移譲は省略する。得票数順などの党内当選順位方式が目安定数内候補の当落に及ぼす影響を確認する。

※シミュレーション（2）の結果：変法では対平均得票数比（各候補者の得票数を各選挙区の平均得票数で割った商）順の場合、各選挙運動区の得票数第１位候補が党内当選圏内から外れるケースがない。

ブロック式中選挙区比例代表併用制変法 2 と 7 ブロック式大選挙区制のシミュレーション（3）：　19 ブロック（シート「15 年国勢調査・区割り」）を選挙運動区、全国を投票区とし、政党候補も無所属候補も全国名簿投票を受け、政党・無所属候補ごとに得票を全国集計して、この得票数に基づいて最大剰余法で政党と無所属候補に議席を配分する。変法では死票を移譲するが、シミュでは死票移譲は省略する。目安定数内候補の当選状況を確認する。7 ブロック式大選挙区制についても目安定数内候補の当選状況を確認する。

※シミュレーション（3）の結果

※19 ブロック式変法では秋田、奈良、山梨、和歌山、佐賀から自民・民進ないし野党統一候補の当選議員がいなくなる可能性が高い。
※7 ブロック式大選挙区制では青森、秋田、山梨、福井、佐賀から自民・民進の当選議員がいなくなる可能性が高い。公明・共産は票割りでそれぞれ議席を 3 増、2 増できる可能性がある。

確定議席	自民	民進	公明	共産	維新	社民	生活	こころ	支持なし	怒り	改革	幸福	無所属	計	死票率
中選挙区比例代表併用制変法1(最大剰余法)	42	22	16	11	11	3	2	1	1	1	1	1	9	121	0
中選挙区比例代表併用制変法1(ドント式)	44	22	16	11	11	2	2	1	1	1	1	0	9	121	0.0
中選挙区比例代表併用制変法1(ドント式)	29	14	10	8	6	1	1	0	0	0	0	0	4	73	1.5
選挙区得票数(最大剰余法)	49	30	9	9	7	1	0	1	0	0	0	2	13	121	3.2
変法2(選挙区+比例区得票数、最大剰余法)	46	27	18	14	12	3	2	2	1	2	1	1	11	140	3.3
変法2(選挙区+比例区得票数、最大剰余法)	40	23	15	12	10	3	2	2	1	1	1	1	10	121	3.7
変法2(選挙区得票数、最大剰余法)	30	18	6	5	4	1	0	1	0	0	0	1	7	73	5.7
変法2(選挙区+比例区得票数、最大剰余法)	24	14	9	7	6	2	1	1	1	1	1	1	5	73	6.0
変法2(選挙区+比例区得票数、ドント式)	45	26	16	13	11	3	2	1	1	1	1	0	1	121	8.7
変法2(選挙区得票数、ドント式)	56	34	10	9	8	0	0	1	0	0	0	2	1	121	9.7
変法2(選挙区得票数、ドント式)	34	21	6	6	5	0	0	0	0	0	0	1	0	73	11.7
変法2(選挙区+比例区得票数、ドント式)	28	16	10	8	7	2	1	1	0	0	0	0	0	73	12.4
16年選挙区選挙の結果	37	21	7	1	3	0	0	0	0	0	0	0	4	73	33.1